

遺伝子組換え生物等実験計画申請書

学長殿

所 属
職 名
(※申請者＝実験責任者とする。)
実験責任者氏名 システム管理者1
住 所
連絡先
E-mail admin1@example.co.jp

申請の種類	☒ 新規 ☐ 継続 (年 月 号) ☐ 変更 (年 月 号)	
経費	☐ 文部科学省科学研究費 ☐ その他 () ☐ 無し	
実験の区分	☐ 一般研究 ☐ 教育・訓練 ☐ 学生実習  添付無し。	
実験の種類	☐ 微生物使用実験 ☐ 大量培養実験 ☐ 動物使用実験 (☐ 動物作製実験 ☐ 動物接種実験) ☐ 植物使用実験 (☐ 植物作成実験 ☐ 植物接種実験 ☐ きのこ作成実験)	
拡散防止措置の区分	☐ P1 ☐ P2 ☐ P3 ☐ P1A ☐ P2A ☐ P3A ☐ 特定飼育区画 ☐ P1P ☐ P2P ☐ P3P ☐ 特定網室 ☐ LSC ☐ LS1 ☐ LS2	
実験課題名		
実験実施期間		から まで (1の申請で、通算5年が限度。 研修会受講証番号 (基礎研究ID)(3年期限)の更新が必須です。)
実験場所及び 飼養保管場所	名称	
	所在地	
		TEL

実験従事者 ※実験従事者は、実験責任者から当該実験開始前に関連法令や学内規則等に定めるもののほか、必要な教育訓練および指導を受けること。 ※「安全で適正な研究に係る研修会」を受講していること。	氏名	所属・職名		組換え生物等 実験経験年数		研修会 受講証番号 (基礎研究ID)				
	システム管理者1			○あり / ○なし (○2年未満 / ○以上)						
実験の目的										
実験の概要										
供与体・ベクター・宿主の組み合わせ										
実験番号	拡散防止措置の 区分	宿主等	宿主の 実験分類	宿主BSL	保有動植物等	ベクター	備考	供与核酸	核酸供与体	
1										
動物実験に用いる遺伝子リスト										
供与 核酸	核酸供与体									実験番 号
	ヒト	マウス	オワン クラゲ	大腸菌	Streptococcus Pyogenes	バクテリオ ファージ	酵母	人工遺伝 子	その他	
	☐ ヒ ト	☐ マ ウス	☐ オワン クラゲ	☐ 大 腸菌	☐ Streptococcus Pyogenes	☐ バクテリオ ファージ	☐ 酵 母	☐ 人工遺 伝子	☐ その他 ()	
遺 伝 子 組 換 え 生 物 等 の 特 性	核酸供与体の特性									
	供与核酸の特性									
	ベクター等の特性									
				添付無し。						
	宿主等の特性									
遺伝子組換え生物等の特性 (宿主等との相違を含む。)										
遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性										

拡 散 防 止 措 置 に 係 る 施 設 ・ 設 備	建物名称	
	実験室及び 飼養保管施設名称 (部屋番号)・位置	
Gene Driveについて		A: 本計画には、Cas9、ZFN、TALENなどのヌクレアーゼDNAを生物のゲノムに導入する遺伝子組換え実験が含まれていますか？ (マウス作成の場合の多くは、mRNAまたはタンパク質を用います) ☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない B: 本計画には、Gene Driveに該当する遺伝子組換え実験が含まれていますか？ ☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
ヌクレアーゼDNAを遺伝子導入する実験の概要		
上記実験の拡散防止措置		
遺伝子組換え生物等を不活化するための措置		
実験終了後の遺伝子組換え生物等の保管の有無及び方法		
動物実験を行う場合	関連する動物実験計画課題名	
その他		

